

青森県漁連臨時総会開催

議案「役員選任に関する件」

去る、七月七日、青森県水産ビルにおいて、本連合会の臨時総会が開催された。

開催にあたり植村会長が次のように挨拶を述べた。「本日、臨時総会を開催致しましたところ、会員の皆様にはご多忙の中、ご出席を頂き心から御礼申し上げます。先の通常総会においては、全議案について皆さんの慎重審議によりご承認賜りましたことにつきまして衷心から厚く御礼申し上げます。さて、本日の議案につきましては、六月二十日の通常総会における議案の予定でした「役員選任に関する件」でございますが、監事候補者の突然の逝去により所定の手続きを経ての審議となるため本日の議案となった訳でございます。

私も最後のご挨拶になりますが本当に長い間お世話になりました。思えば七月と言うのは、縁があるようで平内合併組合の組合長に就任したのも七月でございました。加えて私の生年月日も七月生まれでございますので、どうも七月に縁があるようでございます。皆様には、健康さらに系統運動に尽力あらんことを心からご祈念申し上げます、長い間お世話になった事重ねて御礼申し上げます。さて、議事に入る前に報告事

項がございます。大震災において青森県も八戸、三沢、階上等大変な被害を受けました。しかしそれ以上に岩手あるいは宮城・福島等の被災が大きく、全漁連に於きましては系統運動の一環として義援金のいわゆる浄財を集め当初十億円

の予定でありましたが二十億円を超える義援金が集まりました。本県においてもすでにご承知の通り義援金を募りまして配分委員会において協議し七月中にそれぞれの組合に通知致してございます。この件につきましては、被災地の方々に心からお見舞い申し上げますと共に更なる復興をお祈り申し上げるところでございます。さらに、被災地における漁業権を資本家が介入する案が浮上しておりその事について反対運動として「緊急漁民大会」が東京で行われました。それにつきましては、経对本部の立場から赤石組合長にもご参加頂き、私、専務、指導次長と参加してまいりました。

本日の議案は重大な議案でございますのでよろしくご承認賜りますようお願い申し上げます。」と挨拶を述べた。

続いて、立石政男 脇野沢村漁協組合長を議長に選出し議事に入った。

議事は、第一号議案「役員選任に関する件」

の議案が上程され、投票の結果、出席正会員の議決権の過半数を充たしており原案通り承認決定された。

総会後の、理事会において十二期三十六年間の務めた植村正治前会長の後任として赤石憲二理事（泊漁協組合長）が代表理事会長として選任された。その後、角田順一理事（下前漁協組合長）が副会長、小出政明理事（員外）が専務理事にそれぞれ選任された。

又、監事会において工藤伍郎監事（十三漁協組合長）が代表監事として選出された。

◎ 青森県漁連役員新体制

役職名	氏名	所属漁協
代表理事会長	赤石憲二	泊
副会長	角田順一	下前
専務理事	小出政明	員外
理事	西崎義三	員外
理事	三津谷廣明	平内町
理事	濱端廣文	大間
理事	木浪昭	外ヶ浜
理事	三國優	野牛
代表監事	工藤伍郎	十三
監事	熊谷拓治	八戸みなと
監事	山口隆治	後潟